

平成26年度第1回 倫理審査委員会

平成27年4月20日

受付番号27-01

申請者	呼吸器内科医長	長谷 衣佐乃
課題名	「抗結核薬の急速減感作療法の導入」	
研究の概要	結核、非結核性抗酸菌症に用いられる薬（以下、抗結核薬）は種類が限られており、アレルギー等で投薬困難となることは治療期間の延長や、治癒率低下につながる。減感作療法を行うことで、内服可能となる場合があるが、現在の結核病学会プロトコールでは1剤あたりの減感作に約2週間と長期間を要する。近年、急速減感作の有用性が報告されており、当院でも採用したい。	
判定	保留	

受付番号27-02

申請者	呼吸器内科医長	長谷 衣佐乃
課題名	EGFR遺伝子変異陽性肺癌患者におけるMUC4遺伝子多型とEGFR-TKIによるILD発症との相関性を検証するためのコホート内ケースコントロールスタディー -NEJ022A-	
研究の概要	EGFR遺伝子変異陽性肺癌患者における治療指針は日本（日本肺癌学会、日本臨床腫瘍学会）、海外（アメリカ臨床腫瘍学会等）において、EGFR遺伝子阻害薬（以下EGFR-TKI）を一時治療とするよう推奨されている（A1）。日本人は、EGFR-TKIにより間質性肺炎（以下ILD）を発症する頻度が高いといわれる。投与例の約5%に発病し、そのうち約半数が死亡するとされ、ILDは重篤な副作用の一つである。近年、ムチン遺伝子と間質性肺炎発症に関連が示唆されていることから、MUC4遺伝子多型とEGFR-TKIによる間質性肺炎（以下ILD）発症との相関をコホート内ケースコントロールスタディーにより検証する。また、副次的にILDリスク因子の探索を行う。	
判定	条件付承認	